

講義名称	子どもと表現	担当教員名	澤田 まゆみ
科目群	専門科目 (M) CA2・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目	単 位	1
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	

授業のキーワード	環境・発達・表現
授業の概要	身の回りにある様々なものに着目し、子どもの視点に立って表現の世界を広げる。また、自身の経験や育った環境をふりかえり、それを他者と共有することによって多様な表現について理解する。
期待される学習成果 (目標)	1. 子どもの遊びや生活における領域「表現」について、子どもの表現する姿やその発達とともに理解する。 2. 子どもの様々な表現を受けとめ、共感することができる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方を把握し、保育内容・領域「表現」について概観します。
2	子どもの表現の姿と発達 (1)	3歳未満児の表現の姿と発達について学びます。
3	子どもの表現の姿と発達 (2)	3歳以上児の表現の姿と発達について学びます。
4	子どもの表現の世界 (1)	子どもの「音」の表現の世界について学びます。
5	子どもの表現の世界 (2)	子どもの「色・形」の表現の世界について学びます。
6	子どもの表現の世界 (3)	子どもの「動き」の表現の世界について学びます。
7	保育者のかかわり	「表現」活動における保育者のかかわりと役割について学びます。
8	子どもをとりまく環境 (1)	子どもの音、生活環境について学びます。
9	子どもをとりまく環境 (2)	子どもの文化的環境について学びます。
10	音・色・形・あそびマップ (1)	マップづくりの計画を立て、テーマに合った素材をあつめます。
11	音・色・形・あそびマップ (2)	配置の工夫や調整を行いながら、マップを作成します。
12	音・色・形・あそびマップ (3)	マップを仕上げ、完成させます。
13	音・色・形・あそびマップ (4)	作成したマップの発表を行い、様々な表現の形について考察します。
14	音・色・形・あそびマップ (5)	発表されたマップについて相互評価をしたり、共有をします。
15	まとめ	授業全体をふりかえり、総合的に子どもの表現について理解します。

定期試験	レポート
授業時間外学習	第1回～第6回 テキストp42～48、59～110の予復習 第7回～第9回 テキストp49～58、72～78、111～138の予復習
評価方法	レポート(50%)、授業内での発表(30%)、授業への取り組み(20%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	堂本真美子編『保育内容 領域 表現 日々わくわくを生きる子どもの表現』
参考文献	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』